

スタークル®

粒剤

スタークル®は三井化学株式会社の登録商標です。

粒剤の水面施用でカメムシ防除! 殺虫効果と吸汁阻害で斑点米を防ぐ!

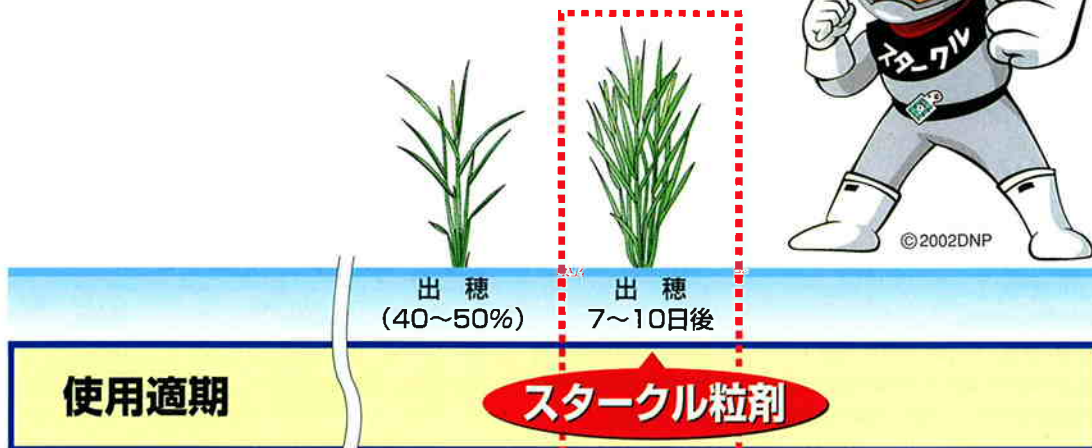
スタークル粒剤の上手な使い方

■水稲・カメムシ防除方法

湛水状態(水深3cm程度)で田面に均一に散布し、4~5日間は湛水状態を保ち落水やかけ流しはしないで下さい(自然落水は可)。

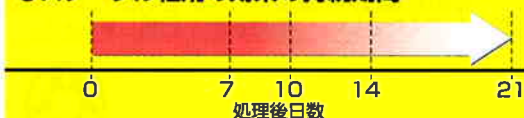
■粒剤の効果的なカメムシ防除時期

出穂7~10日後の散布が最も効果的です。



注) カメムシの発生状況によっては使用適期が異なることがありますので、使用方法に注意し、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。またカメムシの多発時や遅発性時は、補正散布を推奨します。

●スタークル粒剤の効果の持続期間



注) スタークル粒剤の効果の持続期間は、発生状況、圃場条件、気候などにより変動する可能性があります。



トゲシラホシカメムシ



アカヒゲホソノドリカスミカメ



クモハリカメムシ



ホノハリカメムシ

■適用害虫および使用方法

(平成16年11月24日付拡大登録内容を含む)

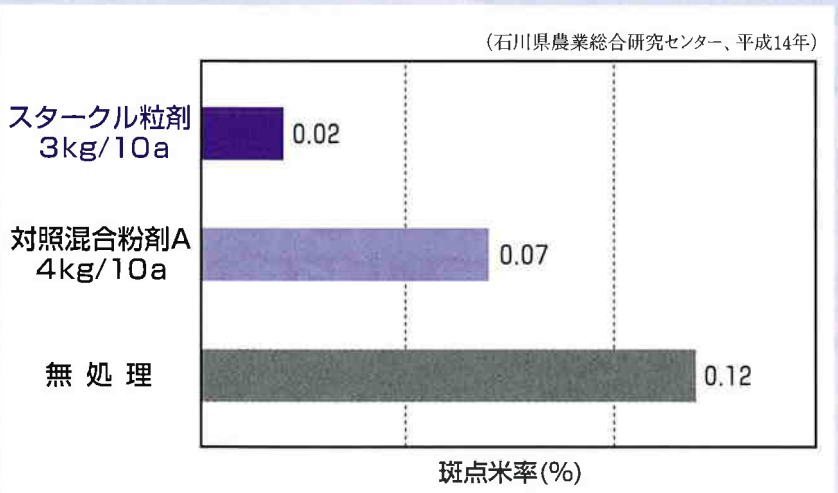
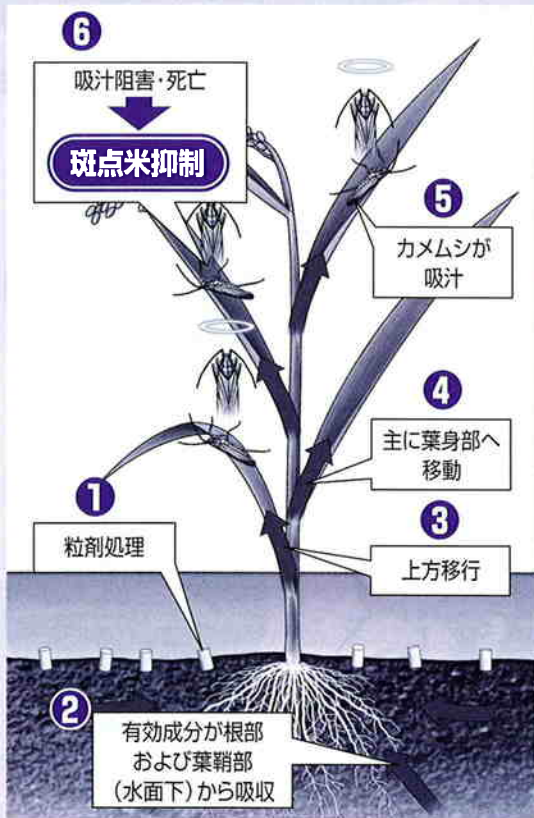
作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類 ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネドロオイムシ ニカメイチュウ	3kg/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内	4回以内 (本田期は3回以内)

上記以外になす、トマト、ミニトマト、ピーマン、きゅうり、すいか、メロン、うり類(漬物用)、いちご、ねぎ、だいこん、はくさい、キャベツ、ブロッコリー、非結球あぶらな科葉菜類、なばな類、ガーベラ、きく、つつじ、さつき、かんきつ(苗木)に登録があります。

■斑点米抑制メカニズム

■試験成績

*平成14年度「新農薬実用化試験成績」(日本植物防疫協会)より一部転記



- 害虫発生状況：トゲシラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソドリカスミカメ：少発生(斑点米：中発生)
- 品 種：コシヒカリ
- 試験規模：102㎡、3連制
- 移植日：5月5日
- 出穂日：8月1日
- 処 理：8月7日(出穂6日後)に手散布。
対照剤は8月1日と7日に手動式散粉器で散布。
- 調 査：8月29日に斑点米調査。

⚠使用上の注意事項

- 水稻に使用する場合には、湛水状態(3cm程度)で田面に均一に散布し、4~5日間は湛水状態を保ち、落水やかけ流しをしないでください。
- 桑に付着する恐れがある地域では使用しないでください。
- ミツバチを放飼している地域では使用を避けてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。
※※魚毒性の分類例(有効成分換算値)

分類	コイの半数致死濃度(48時間)	ミジンコの半数致死濃度(3時間)
A 類	>10ppm	>0.5ppm
B 類	0.5~10ppm	≤0.5ppm
C 類	≤0.5ppm	-

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。皮膚や眼にかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記帳しましょう。